

変化するシステム環境、既存のIT資産にフィットする。  
ブレードサーバ「PRIMERGY BX620 S4」誕生。



SANストレージとの間に仮想化技術を採用し、システム管理者の業務負担も大幅に軽減します。

企業のさまざまなシーンに点在している業務部門サーバ。いざ集約となると、既存IT資産との適合性や運用管理の難しさ、コストがネックとなって、なかなか踏み出せません。富士通のブレードサーバ「PRIMERGY BX620 S4」は、サーバ集約に必要なネットワーク構築を容易にし、低電圧のクアッドコア・プロセッサの採用や業務継続を支えるサーバ管理ソフト「ServerView」の標準搭載により運用負荷を軽減し、TCO削減にも貢献します。

ハードウェア、ミドルウェア、サービスからなるシステム統合ソリューション「TRIOLE BladeServer」の中核として誕生した「PRIMERGY BX620 S4」は仮想化時代のITリソース最適化に新たな価値をもたらしていきます。

**SAN<sup>\*1</sup>接続を仮想化できる「SAN接続仮想化オプション」**

システム運用管理ミドルウェア<sup>\*2</sup>との組み合わせにより、ブレードサーバとストレージ間のSAN接続の仮想化に対応。サーバ構成を変更する際に、SAN側の設定変更が不要で、管理作業が省力化でき低コストで高可用性なシステム運用が可能になります。(2007年9月提供予定)

**IT資産を継続活用する、従来シャーシ<sup>\*3</sup>との互換設計**

お使いのシャーシを活用しながら、新ブレードの導入、増設が可能。お客様のIT資産の継続活用にご対応する富士通ならではの設計です。

**システム統合ソリューション「TRIOLE BladeServer」**

ブレードサーバの中核とした、システム統合ソリューションです。ハードウェア、ミドルウェア、サービスを含め、システムのライフサイクルを考慮した最適なシステム構築を実現します。

**サーバ統合・集約に最適な新ブレードサーバ  
PRIMERGY BX620 S4**



**451,500円より(税込) 税抜価格:430,000円より**

- ・CPU:クアッドコア Intel®Xeon®プロセッサ L5320 (1.86GHz)/X5355 (2.66GHz)/E5310 (1.60GHz) デュアルコア Intel®Xeon®プロセッサ 5148 (LV 2.33GHz)/5160 (3GHz)/5130 (2GHz)/5110 (1.60GHz)
- ・プロセッサ数:1 (最大2)
- ・メモリ:1GB (最大32GB) DDR2 SDRAM Fully Buffered DIMM
- ・HDD:2.5インチSAS×2 ホットプラグ (最大293.6GB)
- ・ServerView (サーバ管理ソフト) 標準添付
- ・3年間標準保証 (お買い上げ日より3年間、ハードウェアのトラブルに対して、修理が必要な場合には、翌営業日以降に訪問修理が受けられます。)

\*1 SAN:Storage Area Network (ストレージ・エリア・ネットワーク)  
\*2 Systemwalker Resource Coordinator Virtual server Edition V13.2  
\*3 BX600 S2シャーシ

性能をきわめる。それが、「富士通品質」

富士通のPCサーバ プライマジー

**PRIMERGY**

※記載の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。